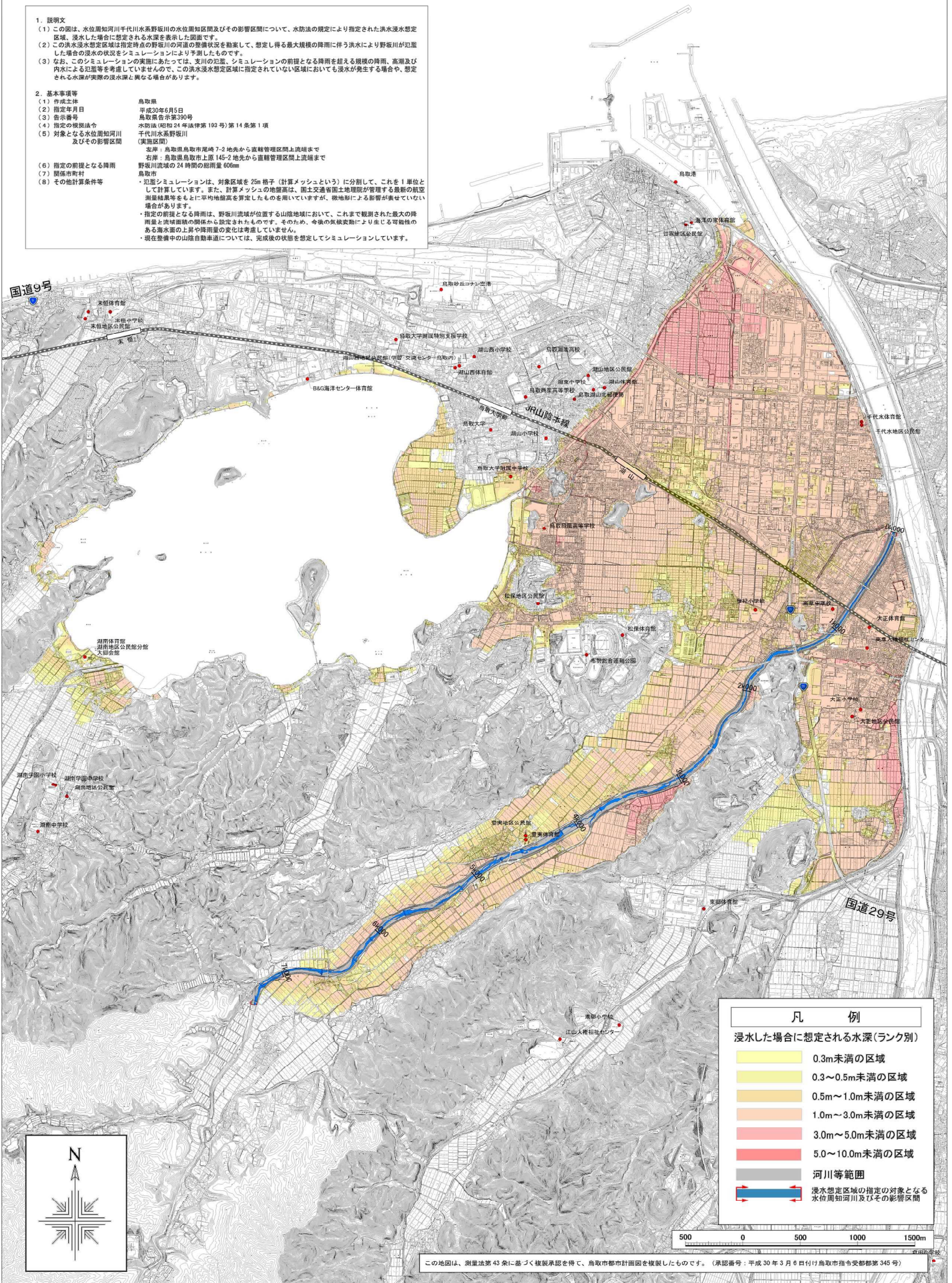


千代川水系野坂川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

1. 説明文
- (1) この図は、水位周知河川千代川水系野坂川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は指定時点の野坂川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により野坂川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 指定年月日 平成30年6月5日
 - (3) 告示番号 鳥取県告示第330号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第103号）第14条第1項
 - (5) 対象となる水位周知河川 千代川水系野坂川（実施区間）
 名称：鳥取県鳥取市西境7-3地先から直轄管理区間上流端まで
 右岸：鳥取県鳥取市上原145-2地先から直轄管理区間上流端まで
 野坂川流域の24時間の総雨量 600mm
 - (6) 指定の前提となる降雨
 - (7) 関係市町村 鳥取市
 - (8) その他計算条件等
- ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表れていない場合があります。
- ・指定の前提となる降雨は、野坂川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。
- ・現在整備中の山陰自動車道については、完成後の状態を想定してシミュレーションしています。



凡 例	
浸水した場合に想定される水深（ランク別）	
	0.3m未満の区域
	0.3～0.5m未満の区域
	0.5m～1.0m未満の区域
	1.0m～3.0m未満の区域
	3.0m～5.0m未満の区域
	5.0～10.0m未満の区域
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川及びその影響区間

この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画図を複製したものです。（承認番号：平成30年3月6日付け鳥取市指令受部第345号）

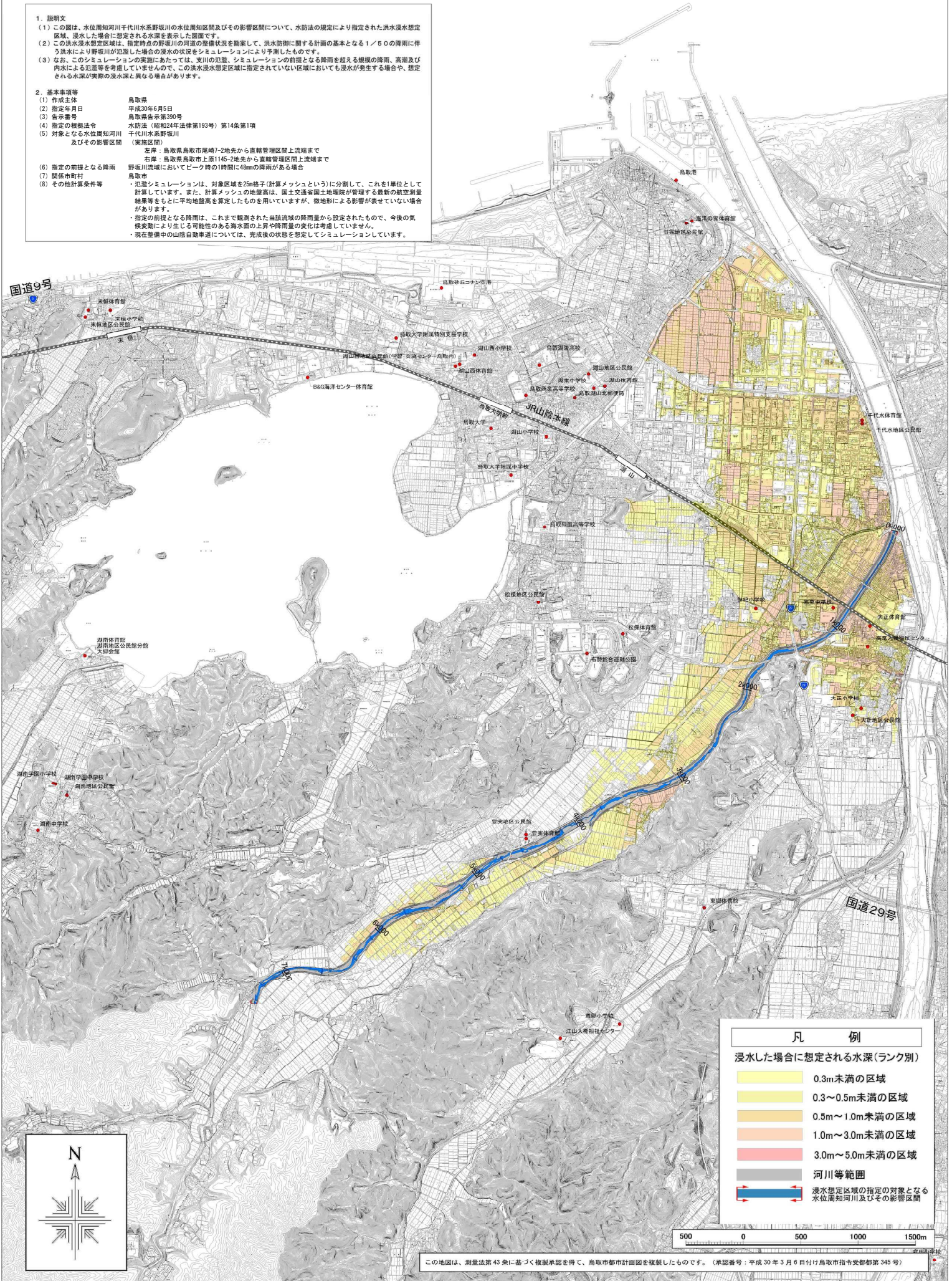
千代川水系野坂川 洪水浸水想定区域図（計画規模）

1. 説明文

- (1) この図は、水位周知河川千代川水系野坂川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の野坂川の河道の整備状況を勘案して、洪水防制に関する計画の基本となる1/50の降雨に伴う洪水により野坂川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 指定年月日 平成30年6月5日
 - (3) 告示番号 鳥取県告示第300号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
 - (5) 対象となる水位周知河川 千代川水系野坂川（実施区間）
左岸：鳥取県鳥取市尾崎7-2地先から直轄管理区間上流端まで
右岸：鳥取県鳥取市上原1145-2地先から直轄管理区間上流端まで
野坂川流域においてピーク時の1時間に48mmの降雨がある場合
鳥取市
 - (6) 指定の前提となる降雨 氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - (7) 関係市町村 鳥取市
 - (8) その他計算条件等 指定の前提となる降雨は、これまで観測された当該流域の降雨量から設定されたもので、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。
- 現在整備中の山陰自動車道については、完成後の状態を想定してシミュレーションしています。



凡 例	
浸水した場合に想定される水深（ランク別）	
	0.3m未満の区域
	0.3～0.5m未満の区域
	0.5m～1.0m未満の区域
	1.0m～3.0m未満の区域
	3.0m～5.0m未満の区域
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川及びその影響区間

この地図は、測量法第43条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画図を複製したものです。（承認番号：平成30年3月6日付け鳥取市指令受部第345号）

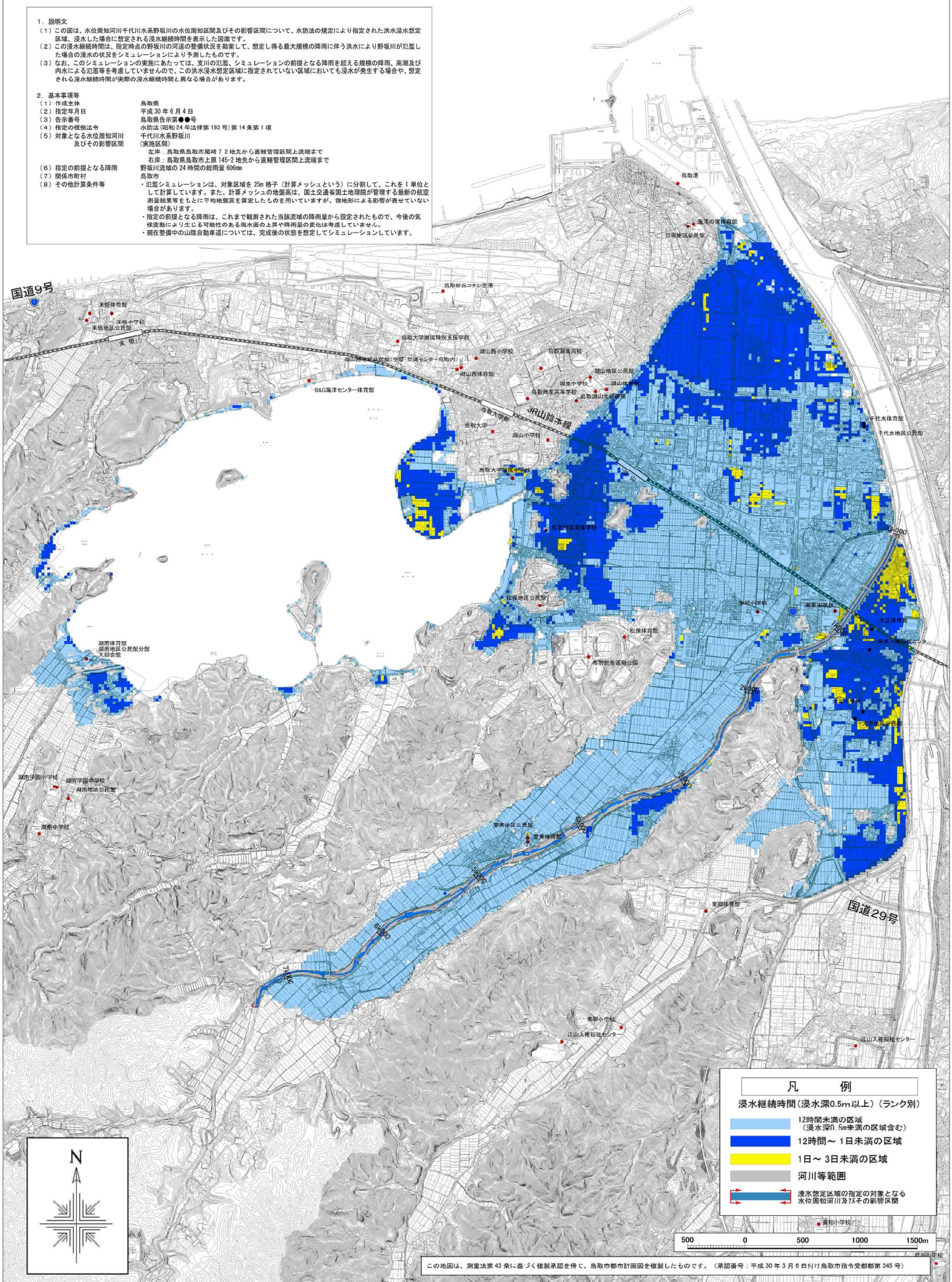
千代川水系野坂川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）

1. 説明文

- (1) この図は、水位周知河川千代川水系野坂川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される浸水継続時間を表示した図面です。
- (2) この浸水継続時間は、指定時点の野坂川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により野坂川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 鳥取県
- (2) 指定年月日 平成 30 年 6 月 4 日
- (3) 告示番号 鳥取県告示第 40 号
- (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和 24 年法律第 193 号)第 14 条第 1 項
- (5) 対象となる水位周知河川及びその影響区間
 左岸：鳥取県鳥取市尾崎 7 2 地先から直轄管理区間上流端まで
 右岸：鳥取県鳥取市上原 145 2 地先から直轄管理区間上流端まで
 野坂川流域の 24 時間の総雨量 60mm
- (6) 指定の前段となる降雨 鳥取市
 ・氾濫シミュレーションは、対象区域を 25m 格子（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空写真地盤等高をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が概してない場合があります。
- (7) 関係市町村 鳥取市
- (8) その他計算条件等
 ・指定の前段となる降雨は、これまで観測された当該流域の降雨量から設定されたもので、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。
 ・現在整備中の山陰自動車道については、完成後の状態を想定してシミュレーションしています。

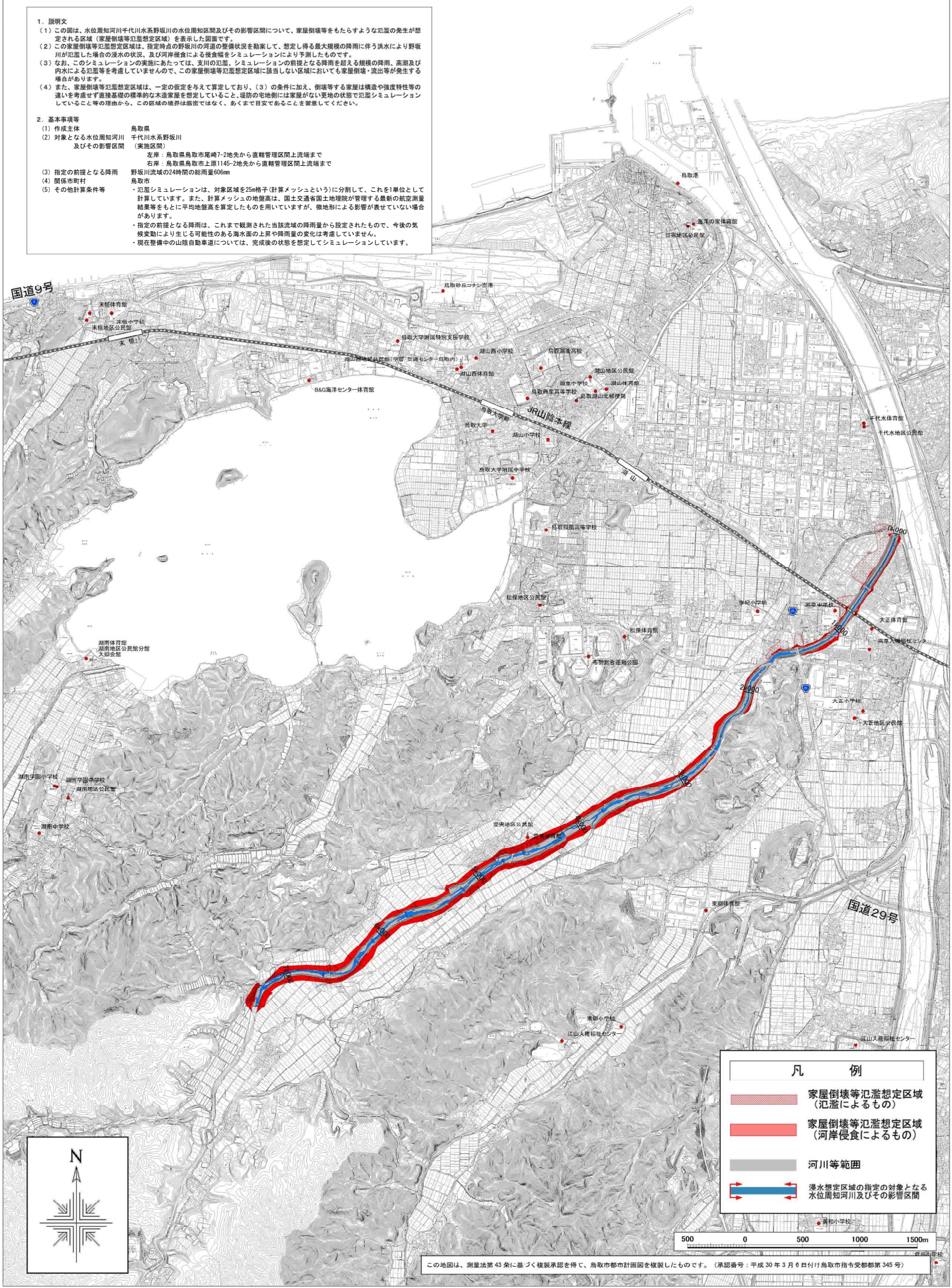


凡 例	
浸水継続時間（浸水深0.5m以上）（ランク別）	
	12時間未満の区域 （浸水深0.5m未満の区域含む）
	12時間～1日未満の区域
	1日～3日未満の区域
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる 水位周知河川及びその影響区間

この地図は、測量法第 43 条に基づく複製承認を得て、鳥取市都市計画図を複製したものです。（承認番号：平成 30 年 3 月 6 日付け鳥取市指令受都第 345 号）

千代川水系大路川 参考：洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫危険区域)

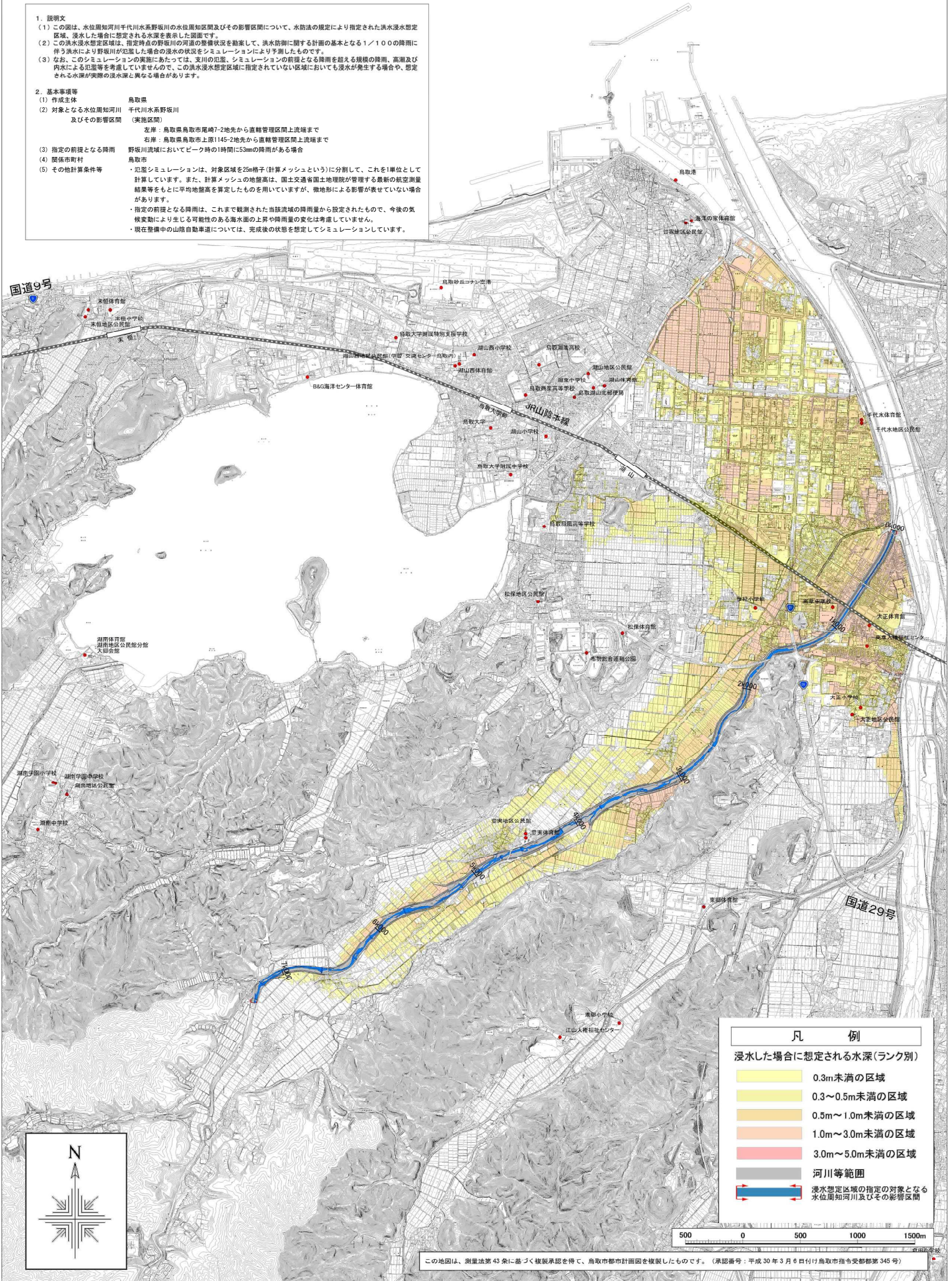
- 1. 説明文**
 - この図は、水位周知河川千代川水系野坂川の水位周知区間及びその影響区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫が発生想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
 - この家屋倒壊等氾濫想定区域は、指定時点の野坂川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により野坂川が氾濫した場合の浸水の状況、及び河岸侵食による侵食幅をシミュレーションにより予測したものです。
 - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に該当しない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
 - また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は構造や強度特性等の違いを考慮せず直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫シミュレーションしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることをご留意ください。
- 2. 基本事項等**
 - 作成主体 鳥取県
 - 対象となる水位周知河川 千代川水系野坂川
及びその影響区間
左岸：鳥取県鳥取市尾崎7-2地先から直轄管理区間上流端まで
右岸：鳥取県鳥取市上原1145-2地先から直轄管理区間上流端まで
 - 指定の前提となる降雨 野坂川流域の24時間の総雨量606mm
 - 関係市町村 鳥取市
 - その他計算条件等
 - 氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表れていない場合があります。
 - 指定の前提となる降雨は、これまで観測された当該流域の降雨量から設定されたもので、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。
 - 現在整備中の山陰自動車道については、完成後の状態を想定してシミュレーションしています。



凡 例	
	家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫によるもの)
	家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食によるもの)
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる 水位周知河川及びその影響区間

千代川水系野坂川 参考：洪水浸水想定区域図（1/100規模）

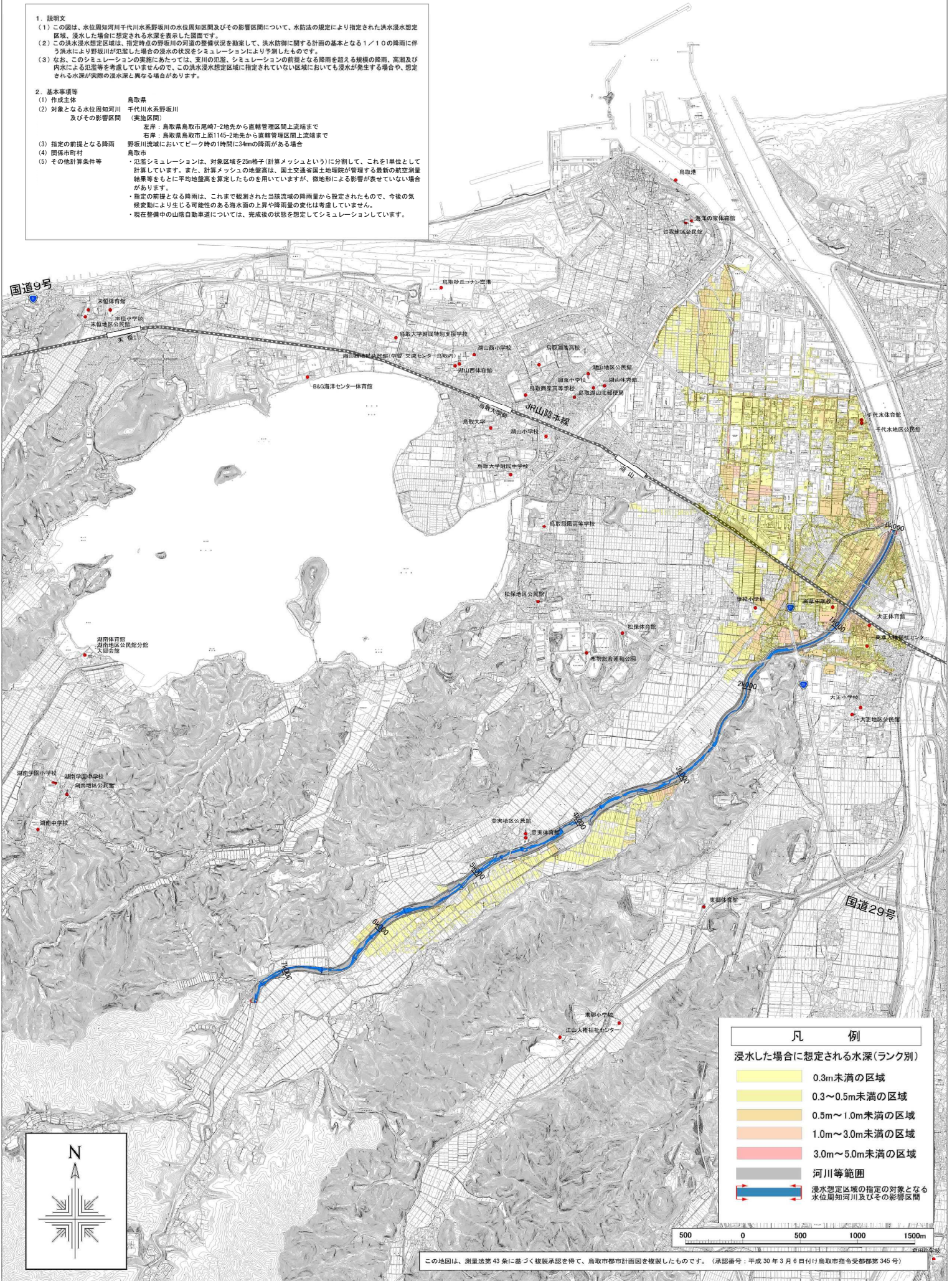
1. 説明文
- (1) この図は、水位周知河川千代川水系野坂川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の野坂川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる1/100の降雨に伴う洪水により野坂川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 対象となる水位周知河川 千代川水系野坂川
及びその影響区間
左岸：鳥取県鳥取市尾崎7-2地先から直轄管理区間上流端まで
右岸：鳥取県鳥取市上原1145-2地先から直轄管理区間上流端まで
 - (3) 指定の前提となる降雨 野坂川流域においてピーク時の1時間に53mmの降雨がある場合
 - (4) 関係市町村 鳥取市
 - (5) その他計算条件等
 - ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ・指定の前提となる降雨は、これまで観測された当該流域の降雨量から設定されたもので、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。
 - ・現在整備中の山陰自動車道については、完成後の状態を想定してシミュレーションしています。



凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	0.3m未満の区域
	0.3~0.5m未満の区域
	0.5m~1.0m未満の区域
	1.0m~3.0m未満の区域
	3.0m~5.0m未満の区域
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川及びその影響区間

千代川水系野坂川 参考：洪水浸水想定区域図（1/10規模）

1. 説明文
- (1) この図は、水位周知河川千代川水系野坂川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の野坂川の河道の整備状況を勘案して、洪水防制に関する計画の基本となる1/10の降雨に伴う洪水により野坂川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体 鳥取県
- (2) 対象となる水位周知河川 千代川水系野坂川
及びその影響区間 (実施区間)
左岸：鳥取県鳥取市尾崎7-2地先から直轄管理区間上流端まで
右岸：鳥取県鳥取市上原1145-2地先から直轄管理区間上流端まで
- (3) 指定の前提となる降雨 野坂川流域においてピーク時の1時間に34mmの降雨がある場合
- (4) 関係市町村 鳥取市
- (5) その他計算条件等
- ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表れていない場合があります。
 - ・指定の前提となる降雨は、これまで観測された当該流域の降雨量から設定されたもので、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。
 - ・現在整備中の山陰自動車道については、完成後の状態を想定してシミュレーションしています。



凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	0.3m未満の区域
	0.3~0.5m未満の区域
	0.5m~1.0m未満の区域
	1.0m~3.0m未満の区域
	3.0m~5.0m未満の区域
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川及びその影響区間